

東北地方太平洋沖地震レポート (2011年3月11日 午後2時46分発生)

地震発生時たまたま自治会館でふれあいの会の定例会の最中でした。

初めは普通の地震だろうと高をくくっておりましたが、
だんだん揺れが大きくなり、いつまでも止まらない揺れに
一部の人は机の下へ、一部は庭へと避難しました。

蛍光灯も消えましたが、すぐに回復するだろうと思い会議は続けられました。

たまたまラジオを持っていた方がおり、東北地方が震源地で
あることは、みなさんに伝えられました。

携帯は通じなくなりましたが、横浜市消防局に登録して
おいたので、携帯に14:59初の防災情報が届きました。

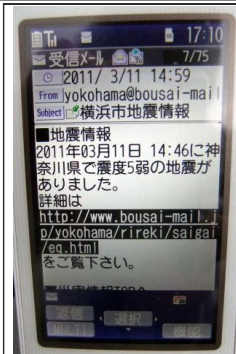
いつもは横浜の天気を送られてくるくらいで、不要かなと思っていた矢先でした。

横浜の情報や、震源地の詳細な情報が送られてきて、
停電さなかの情報のありがたさを身をもって感じることができました。

携帯登録方法

まず、entry-yokohama@bousai-mail.jpへ、
空メールを送ってください。件名、本文は空欄
のままで結構です。

メールを送信すると間もなく登録用のアドレス
を記載したメールが返信されて来ますので、
クリックして登録ページに進み登録してください。



送られてきた携帯画面

今回の地震で私の携帯に来た情報11日午後8時現在、
地震情報6通、津波情報3通、河川水位情報1通でした。
8時10分電気が通じるまでは、ラジオ、携帯地震情報が
情報を得る手段でした。

今回の地震でグルメシティはレジが開かなくなったためと、
電話が通じず本部の指示が仰げないため、すぐに閉店となりました。

駐車場に止めてあった車は、車止めが下がらないため、
道具を使って人力で車を脱出させることになりました。

消防署前の交差点では信号は止まりましたが、
お互い譲り合って混乱はなかったようです。

インターへ向かう道路は渋滞が起きました。

小学校では子どもの引きとりになったようですが、携帯登録していても、直後は肝心の携帯電話が使えず、本当に重大な時は役に立たないものだと思います。



時間がたつにつれ今回の地震の被害が最大級のものであることが伝えられております。

今回は明るいうちの地震でしたので、家の中の懐中電灯、乾電池、食べ物、ラジオなど落ち着いて揃えることができましたが、夜であれば混乱したと思います。

今回あって助かったもの、ガスストーブ、ラジオ、懐中電灯、大きなキャンドル、携帯、バナナやお菓子。

ガスは止まらなかったため、小さなガスストーブでも、20度くらいの室温を保つことができました。

(もっとひどい場合ガスも止まるため、灯油の普通のストーブがあれば暖をとることができます)

グルメシティの前にしばらくいましたら、買い物にいらした方がおりましたが、食べ物というより、乾電池を買いに来た、という方がおられました。

懐中電灯、ラジオはあっても、乾電池がなければ動きませんし、電池も長く置くと使えなくなります。

普段からの備えが必要です。

今回あったらよかったな、と思う物を中心に日ごろの備えをしておきましょう。

なお、市村商店は開いており、グルメシティの方に教えられた方が、買い物することができました。お弁当はすぐに無くなったそうです。

一般電話は通じなくても携帯メール、電話は利用でき重宝しました。



こんな小さな普通のガスストーブが、大変役に立ちました。もっと大きな地震ならガスも止まって使い物にはなりません。

川崎の身内の家では、電気は通じていてガスがストップしたそうです。



手回し式の携帯充電機（電池も可能）懐中電灯、ラジオ、充電器がついています。

携帯電話は普通電話につながらなくても、携帯には繋がり役に立ちました。今回は充電器を使わずに済みましたが、もっと長い停電であればかなり重宝すると思います。（灯り、情報、通信手段の電源をこれ一つでまかなえます）



午後7時頃、暗闇に包まれました。

揺れの割に停電の時間が長かったためみなさんも不安な夜だったと思います。朝までこのままかと思いました。

電気が点いた時はホットいたしましたね。

今回の地震で被害を受けられた方の、一刻も早い救助と援助をお祈りいたします。（野々山）